



「ゆ」から世界を新しく。

GOKURAKUYU
HOLDINGS

2024年3月期 決算説明

2024年5月21日

(コード番号2340 東証スタンダード)

株式会社極楽湯ホールディングス

本資料は、株式会社極楽湯ホールディングスの事業および業界動向に加えて、株式会社極楽湯ホールディングスによる現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまっています。既に知られた、若しくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社極楽湯ホールディングスは、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2024年5月21日現在において、利用可能な情報に基づいて、株式会社極楽湯ホールディングスによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではございません。

問い合わせ先: ir@gokurakuyu.ne.jp

1. 2024年3月期 決算概要

- 1、第三者割当増資^(P5参照)1,894百万円を実施し資金調達、自己資本比率24.1%に資本増強。純資産額は2,997百万円に。
- 2、増資した資金やシンジケートローン契約^(P6参照)による資金調達した資金を借入金^(P6参照)の返済へ充当して負債を圧縮したことにより金融取引は正常化。
- 3、継続企業の前提に関する注記事項を解消^(P7参照)。
- 4、日本は、人気コンテンツやJA等とのコラボイベントが好調に推移、シーズン料金・入館料値上の適用や電気代・ガス代の補助の恩恵も受け大幅な増収増益。
- 5、中国は、2023年12月末に連結範囲から除外したため9ヵ月分の業績のみを反映。4Qの業績が含まないため減収となるが、赤字幅は減少となる。

- 1) 目的：財務体質の強化（借入金の返済）
業績の改善（和光店の改装）
- 2) 払込期日：2023年7月31日
- 3) 調達金額：1,894百万円
- 4) 発行株式：806万株
- 5) 発行価額：235円
- 6) 割当先：

合同会社ミライニホン・アセットマネジメント	300万株
(旧：合同会社ミライスポーツベンチャーズ)	
金之泉酒店投資管理有限公司	252万株
胡 曉艷	125万株
吳 錦平	86万株
株式会社奥田商店	43万株

▶合同会社ミライニホン・アセットマネジメント(旧：合同会社ミライスポーツベンチャーズ)が筆頭株主となりました。

第三者割当増資で調達した資金とシンジケートローンによる資金調達により、返済猶予中であつた借入金の返済資金を充当し負債を圧縮しました。

- 1) 借換実行日 : 2023年12月29日
- 2) 調達金額 : 33.0億円
- 3) 返済金額 : 69.4億円

これまで記載しておりました「継続企業の前提に関する注記」につきましては、

- 1) 事業の収益改善策
- 2) 資金調達
- 3) 金融取引の正常化

の取り組みに注力した結果、第3四半期に**解消**いたしました。

- ①売上高は、前期比10.3%増の14,082百万円（1,313百万円増加）（理由：P10～11参照）
- ②営業利益は、前期比1,760.1%増の748百万円(708百万円増加)
- ③経常利益は、前期291.1%増の720百万円(536百万円増加)
- ④親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に比べ1,001百万円増加し
697百万円の親会社に帰属する当期純利益

(単位：百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主帰属 当期純利益
24年3月期 実績		14,082	748	720	697
23年3月期 実績		12,768	40	184	▲304
前期比	増減率	+10.3%	+1,760.1%	+291.1%	—
	増減額	+1,313	+708	+536	+1,001

【日本・中国】セグメント売上高と利益又は損失

①日本は、売上高が前期比11.7%増の13,033百万円（1,365百万円増加）
セグメント利益1,261百万円は、前期セグメント利益584百万円より
プラス676百万円 →大幅な増収増益で過去最高益(P10参照)

②中国は、売上高(注1)が前期比4.8%減の1,049百万円（52百万円減少）
セグメント損失345百万円、前期セグメント損失393百万円より
プラス48百万円 →2023年12月に連結範囲から除外した(P11参照)

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益				
	日本	中国	調整	計	日本	中国	調整	計	
24年3月期 実績	13,033	1,049 (注1)	-	14,082	1,261	▲345 (注1)	▲167	748	
23年3月期 実績	11,667	1,101	-	12,768	584	▲393	▲150	40	
前期比	増減額	+1,365	▲52	-	+1,313	+676	+48	▲17	+708
	増減率	+11.7%	▲4.8%	-	+10.3%	+115.9%	▲12.4%	+11.6%	+1,760.1 %

注1 中国グループは2023年12月末に連結範囲から除外したため、2023年4月から2023年12月まで(9カ月分)の業績を反映しています。

【日本】セグメント 四半期毎の状況

- ①新型コロナの影響が薄れた
- ②人気コンテンツ「ホロライブ」や「ハイキュー!!」等とのコラボイベントが好調
- ③ゴールデンウィークのシーズン料金や一部店舗の値上げの効果
- ④電気代・ガス代の補助の恩恵を受ける

- ①人気コンテンツ「【推しの子】」、「ホロライブ」等とのコラボイベントが好調
- ②お盆期間のシーズン料金や一部店舗の値上げの効果
- ③電気代・ガス代の補助の恩恵を受ける

(単位：百万円)

		1Q 4-6月	2Q 7-9月	3Q 10-12月	4Q 1-3月	累計
24年3月期 実績	売上	3,099	3,311	3,249	3,374	13,033
	セグメント利益 又は損失	234	372	235	420	1,261
23年3月期 実績	売上	2,672	2,760	2,942	3,292	11,667
	セグメント利益 又は損失	180	113	▲27	318	584

- ①人気コンテンツ「おぼんちゅうさぎ」「リコリス・リコイル」「にじさんじ」等とのコラボイベントが好調
- ②一部店舗の入館料や回数券価格の値上やシーズン料金の効果
- ③JAとのコラボイベントやサウナイベントなど販促活動を実施した
- ④電気代・ガス代の補助の恩恵を受ける

- ①人気コンテンツ「ハイキュー!!」「にじさんじ」「ポケットモンスター」等とのコラボイベントが好調
- ②一部店舗の入館料や回数券価格の値上やシーズン料金の効果
- ③JAとのコラボイベントなど販促活動を実施した
- ④電気代・ガス代の補助の恩恵を受ける



【中国】セグメント 四半期毎の状況

- ①前1Qはゼロコロナ政策に伴う臨時休業で当1-2Qは通常営業により売上は大幅増
- ②例年1Qは閑散期にあたり赤字になる傾向あり
- ③経済回復の遅れ等によりコロナ前の売上には遠く及ばない
- ④前年同期に比べ店舗維持管理コスト、賃料、人件費など費用増により赤字は小幅改善に止まる

- ①例年2Qも1Qに続き、気温が高いとなお閑散期にあたり赤字になる傾向あり
- ②経済回復の遅れ等によりコロナ前の売上には遠く及ばない
- ③上海1号店では赤字を抑えるため飲食エリア縮小するなど対策したため売上減
- ④前年同期に比べ店舗維持管理コスト、賃料、人件費など費用増により赤字は小幅改善に止まる

(単位：百万円)

		1Q 4-6月	2Q 7-9月	3Q 10-12月	4Q 1-3月	累計
24年3月期 実績	売上	306	251	492	-	1,049
	セグメント利益 又は損失	▲181	▲93	▲71	-	▲345
23年3月期 実績	売上	24	260	276	540	1,101
	セグメント利益 又は損失	▲244	▲78	▲90	20	▲393

- ①ニーズが高い飲食バイキングを導入したことで売上改善
- ②施設維持管理コストや人件費、エネルギーコスト等の負担が増加

- ①2023.12月末に中国グループを連結範囲から除外された



営業外損益

(単位：百万円)

主なもの		金額	説明
1.	支払利息	80	銀行などへの借入利息
2.	協賛金収入	61	国内直営店舗の自動販売機設置に伴う協賛金
3.	支払手数料	46	コンサルティング手数料
4.	シンジケートローン手数料	38	銀行への手数料 (シンジケートローン契約(P6参照))
5.	受取家賃	26	駐車場賃料や駐車場代(時間貸・定期貸)

特別損益

(単位：百万円)

主なもの		金額	説明
1.	子会社株式売却損	147	香港子会社株式売却に伴う損失
2.	減損損失	85	主に中国グループ
3.	新株予約権戻入益	35	行使期間終了による利益

- ①総資産は、前期比25.2%減の11,345百万円（3,825百万円減少）
 →主に資金調達した資金を借入金返済へ充当して負債を圧縮したことで現預金2,220百万円減少
- ②純資産は、前期比1,906.8%増の2,997百万円(2,847百万円増加)
 →第三者割当増資による資金調達1,894百万円の影響が大きい
- ③自己資本比率は、前期末▲0.9%(注1)に対し当期末は24.1%
- ④ 1株あたり純資産は、前期末の▲6.04円(注2)が93.83円増加し87.79円

(単位：百万円)

		総資産	純資産	自己資本比率	1株あたり純資産
24年3月期実績		11,345	2,997	24.1%	87.79円
23年3月期実績		15,171	149	▲0.9% (注1)	▲6.04円 (注2)
前期比	増減率	▲25.2%	+1,906.8%	—	—
	増減額	▲3,825	+2,847	—	93.83円

注1 23年3月期の自己資本比率は、純資産から新株予約権を除いた金額がマイナスのため▲0.9%となっています。

注2 23年3月期の1株あたり純資産は、純資産から新株予約権を除いた金額がマイナスのため▲6.04円となっています。

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	23年3月期 実績	24年3月期 実績	増減
営業活動CF	836	1,575	+739
投資活動CF	175	▲1,107	▲1,282
財務活動CF	▲1,755	▲2,655	▲900
現金及び現金同等物に係る 換算差額	0	25	+24
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	▲743	▲2,162	▲1,419
現金及び現金同等物の期首残高	6,172	5,429	▲743
現金及び現金同等物の期末残高	5,429	2,865	▲2,564

① 大幅な増収増益で当期黒字となった影響

① 和光店改装(P17参照)・直営店舗の設備更新等に伴う固定資産の取得による支出が増加

① 第三者割当増資により18億円の入金
 ② シンジケートローン契約締結により33億円の入金
 ③ 金融機関からの借入金返済69億円の支出



- ①日本国内は増収増益で好調に推移しているものの世界的なエネルギーコストや原材料費の上昇等の不確定な要素を現時点において合理的に算定することが困難なため、2025年3月期の連結業績見通しは、未定
- ② 2025年3月期の配当(予想)は引き続き、無配

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主帰属 当期純利益
25年3月期・予想	未定	未定	未定	未定
(ご参考) 24年3月期・実績	14,082	748	720	697

2. 国内の取り組み

男性サウナのパワーアップ更新

遠赤外線サウナ・超高温サウナ・ロウリュサウナの3種類に



黒湯炭酸泉の導入・美泡風呂の導入(女性限定)/フロント受付やお食事処の改装



一般社団法人日本プロサッカー選手会（代表理事 吉田麻也）（以下、「JPFA」という。）と「JPFAアワード」のパートナー契約を締結いたしました。



JPFAが掲げるフィロソフィーや選手の活動を支える「JPFAアワード」とのコラボレーションにより、当社グループの施設の魅力度をさらに高め、新たなコミュニティの創造につながることを期待するとともに当社グループの想いを進めるための一躍を担うと考え、契約に至りました。



<2023年度実施一覧(1)>

東京リベンジャーズ



PUI PUI モルカー



ハイキュー!!



地獄楽



【推しの子】



M.S.S Project



「ゆ」から世界を新しく。
GOKURAKUYU
HOLDINGS

<2023年度実施一覧(2)>

ホロライブ5期生



リコリス・リコイル



おぱんちゅうさぎ



んぽちゃむ



にじさんじ



チェンソーマン



<2023年度実施一覧(3)>

ヒプノシスマイク



ヒプノシスマイク × 極楽湯 RAKU SPA

2023.12.22 (Thu) ~ 2024.1.14 (Sun)

詳しくはコラボHPへ

© ヒプノシスマイク-Division Ryo Battle, Rhyme Anima製作委員会

とびだせユニバース



とびだせユニバース × 極楽湯 RAKU SPA

1.11 (Thu) ~ 2.7 (Wed)

詳しくはコラボHPへ

© とびだせユニバース

ガンダムSEED



ガンダムSEED × 極楽湯 RAKU SPA

2024.1.19 (Fri) ~ 2.7 (Wed)

総員第一銭湯配備!

詳しくはコラボHPへ

© 万代・ガンダム

ホロスターズ



HOLOSTARS × 極楽湯 RAKU SPA

2024.2.8 (Thu) ~ 3.6 (Wed)

詳しくはコラボHPへ

© 2018 COVER Corp.

P丸様。ゆるふわ～



P丸様。ゆるふわ～ × 極楽湯 RAKU SPA

2.8 (Thu) ~ 3.6 (Wed)

詳しくはコラボHPへ

© 2023 P丸様。

ポケットモンスター

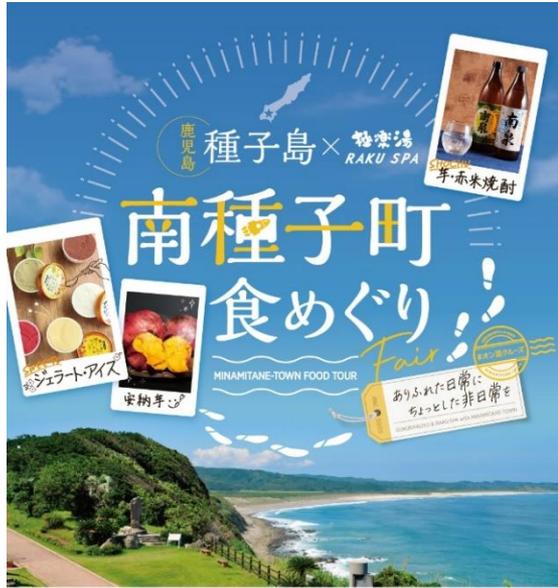


ポケモン × 極楽湯 RAKU SPA

3月8日(金)～4月3日(水)

詳しくはイベントページへ

© Pokemon/Nintendo/CR/GF



3. 中国の取り組み

【中国】FC武義温泉館オープン(連結除外前)

中国のフランチャイズ店「極楽湯 武義温泉館」(浙江省)が2023年6月10日にグランドオープンいたしました。

「極楽湯 武義温泉館」は、中国長江デルタ地域にある温泉郷として天然温泉が有名な地域に位置し、近隣にはホテルや商業街も備えた自然環境が豊かなエリアにあり、この地域特有の天然温泉を活かした日本の落ち着いた雰囲気のある風呂施設の温泉施設です。



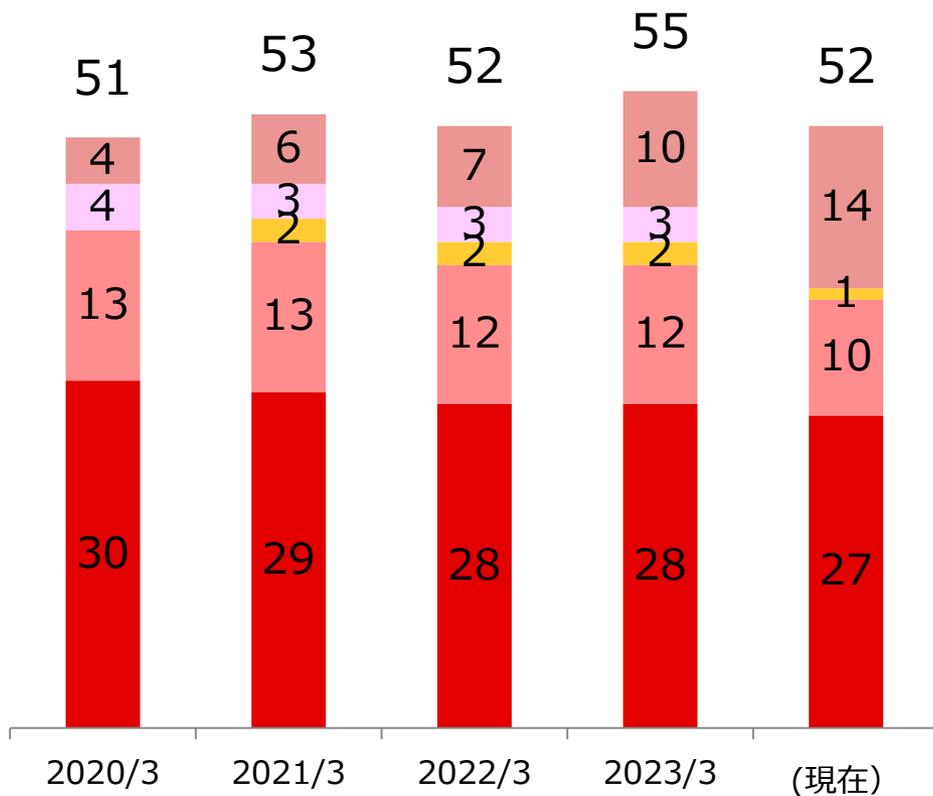
中国のグループ店「北大湖極楽湯百万石温泉ホテル」(吉林省)が2023年12月1日にグランドオープンいたしました。

「北大湖極楽湯百万石温泉ホテル」は、吉林市域内にある中国最大規模の吉林北大湖スキー場エリアに位置し、2022年11月にオープンした「極楽湯 北大湖温泉館」に隣接したホテルとして出店いたしました。

冬季にスキー場を利用されるお客様をターゲットにしており、ご宿泊の際、アクティビにスキーをされた後、入浴や岩盤浴など満喫いただけます。



- 国内直営
- 国内FC
- 国内グループ
- 海外（中国）直営
- 海外（中国）グループ



直営 27

国内 27 海外 0

FC 10

国内 10 海外 0

グループ 15

国内 1 海外 14

計 52

国内 38 海外 14

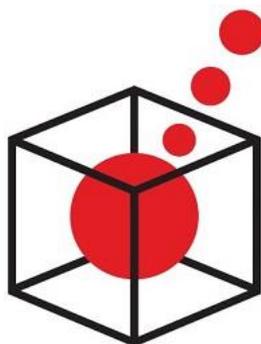
(2024年5月21日現在)

注：温浴施設以外の店舗を含まない

4、(参考)会社概要・国内の温浴業界

(株) 極楽湯ホールディングス 2017年1月1日 誕生

ロゴマーク



「ゆ」から世界を新しく。

GOKURAKUYU
HOLDINGS

— ロゴマークに込めた思い —

極楽湯グループは「ゆ」から始まる
快適癒し空間を創って来ました。

今後も、新たな空間創りのため、
「ゆ」のように温かくも、
型にはまらず成長し続ける
私達でありたいと思っています。

人への温かさ、優しさ。

即ち「癒し」を通じて社会貢献を果たします。

日本から世界へ。

人や自然との調和を大切に。

その先の成長へと向かい、発信し続けていきます。



国内NO.1 温浴チェーン (店舗数日本一)

「極楽湯」「RAKU SPA」ブランドで 国内38店舗(直営27・FC10・グループ1)の温浴施設運営



「日常生活の延長線上に癒しを提供する」
をコンセプトに展開する日帰り温浴施設
直営のほか、フランチャイズ形式で出店



特に若い世代を中心にお風呂と合わせて広々とした館内で多くの遊べるコンテンツを盛り込み、癒しと遊び心が詰まった、楽しめる温浴施設
“RAKU SPA Cafe” や “RAKU SPA GARDEN”、
“RAKU SPA 1010(セントウ)”といった特色あるシリーズで出店



「ゆ」から世界を新しく。
GOKURAKUYU
HOLDINGS

温浴事業の再強化・拡大

(温浴施設を起点に娯楽ニーズを取り込む)

直営出店 + 既存店の補修・改装 (進化)

「RAKU SPA」： 滞在型娯楽施設として進化・発展

「極楽湯」： 補修・改装による安心安全・顧客満足度の向上

+ 新業態開発による既存事業への波及効果

外食事業 (第2弾 : RAKU CAFE (新しいコンセプトのお店))

入館料金 + a の アイデアで収益機会の可能性大

公衆浴場法

一般公衆浴場業

銭湯

地域住民の日常生活の
健康衛生上必要なもの

料金は都道府県が規定
(物価統制令で入浴料金を統制)
大人：350円～530円

その他公衆浴場業

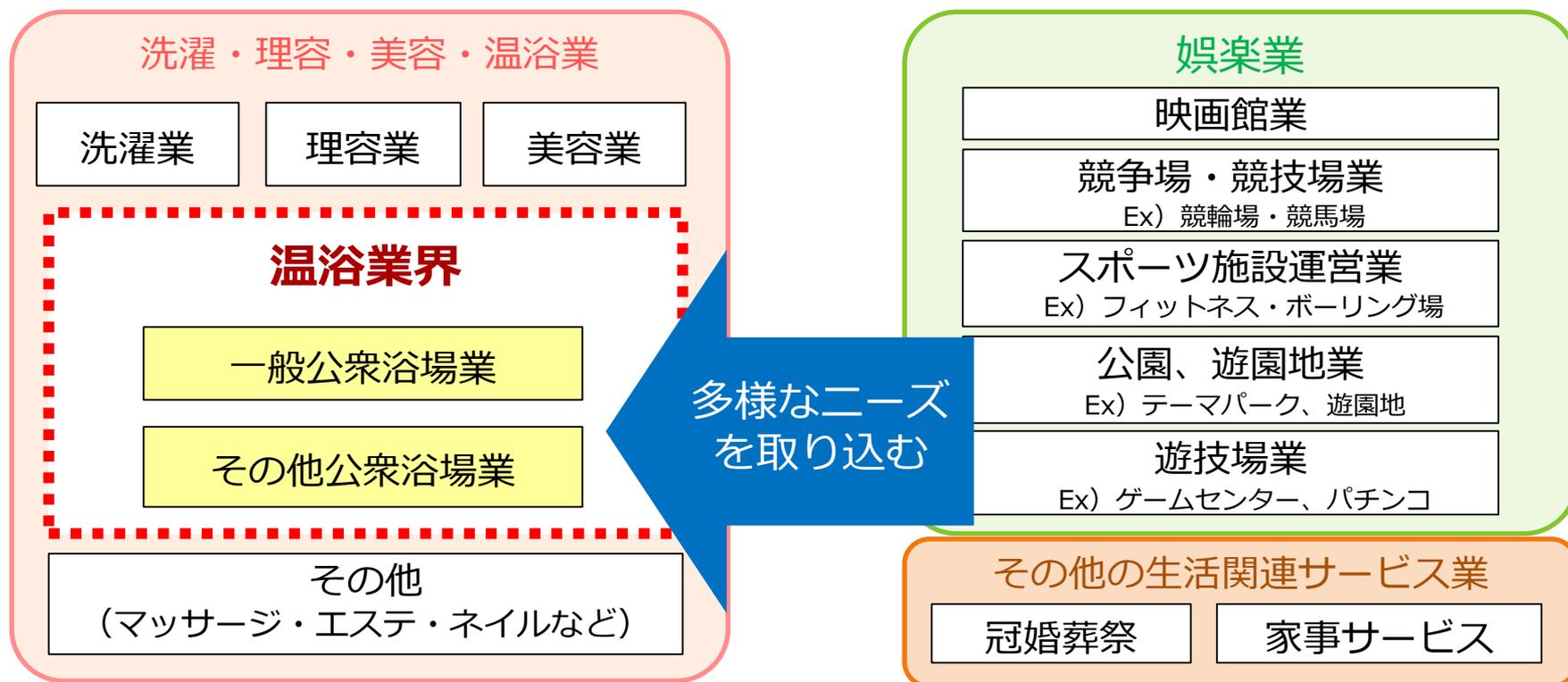
温浴業界

日帰り温浴施設、
スーパー銭湯、健康ランド
サウナ、スパ、クアハウス
など銭湯以外すべて

料金は施設が自由に設定
(物価統制令の適用外)
大人：400円～900円が中心

若い世代など多様なニーズを取り込む動き

生活関連サービス業、娯楽業（日本標準作業分類）



公衆浴場営業許可施設： **23,694**施設(2022年度末)

うち、一般公衆浴場：3,000施設
1970年占有率：87% ⇒ 2020年占有率：12.7%

(出所：厚生労働省「衛生行政報告例」)

大型レジャー浴場や食事、休憩、娯楽施設も併せ持つスーパー銭湯の増加
ターゲットを明確にして特色ある施設へと差別化、工夫を一層進める

背景

高齢化社会の到来
健康志向の高まり
余暇の過ごし方が多様化
業態のボーダレス化
緩やかな所得改善

当社の展開

テーブル席の増加
炭酸泉、岩盤浴の導入
明るい照明、床材へ
キッズコーナーの充実
大型温浴施設の出店
飲食充実、専門店の出店

集客・収入・利益の創出

温浴施設（入館料金）

+

利益の補完

附帯施設の利用

事業の特性

- ・ 装置産業
- ・ 固定費負担重く、償却費も多い
- ・ 固定費を下げることで利益増につながる
- ・ 損益分岐点からのかい離率が大きいと利益が累積的に増加する
- ・ 原油等の市況価額の変動の影響でコストの変動リスクがある

収益向上への考え方

- ① 固定費の引き下げ
- ② 集客増による増収効果

事業の特性

- ・ アイディア・サービス
- ・ 変動費比率が高いので、増収→増益に直結しやすい
- ・ 初期投資費用が少なく採算性が見極めがしやすい
- ・ 継続的な採算性チェックが必要

収益向上への考え方

- ① 生産性を見直し
- ② 稼働率の向上

◆温泉施設

33.9% 

順位	社名	本社	部門売上高 (百万円)	前年度 比伸び 率(%)	決算 月
1	極楽湯ホールディングス ◇	東京G	12,768	27.2	3
2	スパサンフジ (湯葉の里、喜楽里)	東京	11,290	25.5	3
3	オークランド観光開発 (竜泉寺の湯、喜盛の湯、スパメッツアほか)	愛知	9,718	54.2	4
4	創裕 (ほかほか温泉ほか)	香川	3,786	20.5	3
5	常磐興産(スパリゾートハワイアンズ) ◇	福島	3,357	66.1	3
6	カケン (喜多の湯)	愛知	2,705	33.1	3
7	ツルカメO&E (風の湯、おゆば、葵湯、風の森、大家族の湯)	香川GF	2,410	20.5	3
8	サンリク (健美の湯)	埼玉	1,674	17.2	3
9	エコナックホールディングス (テルマー湯) ◇	東京G	1,362	98.3	3
10	マンテンホテル (満天の湯)	富山	1,090	21.7	9
11	コシダカホールディングス (まねきの湯) ◇	群馬G	894	—	8
12	亀井工業ホールディングス (湯快爽快)	神奈川	776	54.0	9

【温泉施設】 スーパー銭湯や大型温泉などを運営している有力企業が対象

極楽湯グループ 売上No.1

※「日経MJ」調べ
※当社グループの海外売上含む

(「日経MJ」2023年10月18日より転載)